



椿



展

～ きもの & いけ花 ～
和みの会



～ いけ花に! きものに! 椿が咲いた ～

2013年3月18日(月)～24(日) 午前9時～午後9時30分 (いけ花は18・19日のみ / 最終日午後2時まで)

場所 県民ふれあい福寿会館 2Fギャラリー 岐阜市藪田南5-14-53 TEL 058-277-1111

いけ花 MOA山月光輪花 宮川 敏子 問い合わせ 0585-22-0619

きもの ギャラリー布有喜 樋口 冨喜子 問い合わせ gallery.fuuki@gmail.com

椿展

いけ花に! きものに! 椿が咲いた

椿は、日本原産の常緑樹で、群を抜いて種類が多くあります。

開花後に「花がポトリと落ちる」特徴から、不吉であると武士に嫌われ家紋に使われることは避けられてきた歴史があります。

しかし「木と春」の組み合わせが示すとおり、本来は、春の到来を告げる聖なる木として吉祥の意味が込められています。ポトリと落ちる特徴は「散るまで身を崩さない美しさ」を人生にたとえ、女性の着物や小物では「死ぬ間際まで美しく綺麗でありたい」という女心を表したものでもあります。

本展は、MOA山月光輪花とギャラリー「布有喜」の初のコラボレーションによる「いけ花ときもの」の展覧会です。

いけ花は、自然で趣の違ういろいろな椿を展示します。

また、きものは、椿づくしの手描き友禅や型染め、紬、袋帯など、選りすぐりの30点で構成しました。中でも約20万粒が施された総絞りの振袖は圧巻です。振袖を埋め尽くす「匹田絞り」は、ベテラン職人でも1日3,000粒しかできないともいわれ、職人たちの費やした膨大な時間とこだわりが、シンプルな色使いと反物からはみ出すほどの大輪の椿によって、見事に表現された逸品です。

あまりに贅沢で豪華な染めの技法の為、たびたび奢侈(しゃし)禁止令を招いてしまった歴史を持つ「絞り」ですが、いつの時代にも女性の心に憧れを抱かせます。

椿を使って森羅万象を凝縮させたいけ花と、女性を美しく際立たせる椿柄。いずれも控えめな中に趣の違う色、形、質感などを散りばめて、凛とした「和の極み」を伝えています。

是非、ご来場いただきますよう心よりお待ちしております。

MOA山月光輪花 宮川敏子 問い合わせ 0585-22-0619

色々な椿を楽しんでください。花とふれあう暮らしは、生活をより美しく豊かにしてくれます。

また、自然に優しい気持ちになり、観る人の心が癒され、笑顔が広がります。

私たちはそんな「美育」を目指して推進しています。

ギャラリー「布有喜」 樋口 富喜子 問い合わせ gallery.fuuki@gmail.com

先人の技の素晴らしさに魅せられ、着物コレクションを始めてしまいました。

3,000枚のコレクションの中から、椿に関する30点を展示し、着物たちに託された思いをお届けします。

ホームページ <http://fujiyama3776.p2.bindsite.jp/fuuki/>